

子宮頸癌における L0X-1 発現の意義の検討に関する研究

1. 研究の対象

2005 年 1 月 1 日以降に当院で子宮頸癌に対して初回治療として放射線治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

血液中の白血球数が増加している子宮頸癌は予後が不良なことがわかっております。その理由として、免疫抑制細胞が増えていることがわかっております。しかし、その細胞が増えているかどうかを判断する生物学的マーカーがない現状です。そのマーカーの候補として L0X-1 という受容体が挙げられています。患者様の腫瘍組織(当院で保管している余剰検体)における L0X-1 の発現の有無を免疫染色で評価した後、過去の血液データ(例：白血球数)や予後との相関を検討します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：カルテ番号、年齢、身長、体重、病歴、放射線治療情報、副作用等の発生状況、放射線治療後の病状等

試料：余剰検体(腫瘍組織)等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

研究責任者

大阪国際がんセンター 婦人科 馬淵 誠士

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

-----以上